

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」東加古川駅前事業所		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年12月2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38人	(回答者数) 38人
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年11月29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	通われている幼稚園や保育園に訪問して情報共有を行う関係機関連携を多く実施している点。	保護者様の要望やお子様の状況に合わせて関係機関との連携を行うことを通して、情報の共有・すり合わせを進める機会を設定しています。また、個別では見えにくい集団での困り感を、通われている幼稚園や保育園での様子を見せていただいたり、先生と共有することで拾い上げ、集団での困り感が軽減できるように個別の支援の中で出来ることを考えています。	さらに園や他事業所など関係機関との連携を視野に入れながら、保護者様との共有(家族支援を含む)や相談員との共有を積極的に行うよう努めます。
2	支援中の様子のフィードバックや、ご家庭、通われている幼稚園や保育園での様子をしっかりと共有出来ている点。	お子様の様子にもよりますが、基本的には支援の様子を見ていただき、状況に応じて参加もお願いしています。支援後は10分～15分程度のフィードバックを行う時間を設け、今日のプログラムのねらいや支援での様子、ご家庭、通われている幼稚園や保育園での様子を共有しながら進めることが出来ています。	フィードバックの時間内ではお伝えが難しかったり、きらりの職員に相談がある場合は支援とは別で30分～1時間程度、「家族支援」という形も取ることが出来ます。引き続き、保護者様との情報共有は丁寧にながら支援を進めていきます。
3	お子様一人ひとりの体調や状況に合わせて療育の内容を変更したり、ペースをゆっくりにしたりと調整しながら進められる点。	お子様一人ひとりのその日の体調や様子について話すことを通して確認し、お子様の状況に合わせて相談をしながら支援を進めるようにしています。	引き続き、お子様一人一人の様子を観察しながら関わることを意識し、小さな変化にも気づいて対応できるよう心掛けていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が2階にあり、エレベーターがないことや、事業所の場所がわかりにくい点。	建物の構造上対応は難しい状況。	バリアフリーではない点については、ベビーカー等大きな荷物があるときは、職員が階段下まで降りてお手伝いをさせていただきます。初めて来所される場合は、マンション側の入り口ではないことを事前に周知します。
2	保護者向けイベントの開催が不定期、回数が少ない点。	保護者向けイベントの開催が不定期で、参加しにくい状況があります。	保護者から話や悩みを聞くための面談の機会を設けます。保護者向けイベントの年間計画を作成し、事前にお知らせして参加しやすいように工夫します。保護者にアンケートを実施し、保護者向けイベントの希望テーマ等の聞き取りをしてイベントに反映できるようにします。
3	大きな部屋をパーテーションで区切り、最大同時4支援行っている。お子様によっては職員や他児の声や、音のなるおもちゃの音が気になってしまうことがある点。	大きな部屋をパーテーションで区切って支援ブースを作っているため。	個室を活用したり、お子様の特性によって支援時間を工夫したり、出来る限り支援の時間帯を分散させることで、集中して支援を受けられるように環境設定を行います。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」東加古川駅前事業所
------	-------------------------

公表日 2025年 2月 7日

利用児童数 2024年11月28日 39名(保護者数:38)

回収数 38名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	3	1	0	広いお部屋もあり、手を洗うところやトイレもあり、個室も用意していただいております。必ず仕切りをしていただいております。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	35	0	0	3	子どもや保護者にとっては問題ないと思っておりますが、子どもや保護者の対応以外のところがわからないので、わからないにさせていただきました。 下の子を連れて行かないといけない時も相手をしていただけでもある。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	5	0	1	視覚の情報が多くなるとそわそわしてしまいがちなので、個室での対応にさせていただいて、とても配慮していただいております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	3	0	0	子どもの活動等スペースを確保するためですが、部屋の壁沿いに物が積まれていることが気になる。 終わりの時間が近づくと、まだ降りたくなさそうにしているので、心地よく過ごせていると思います。 個室のことをろろやのような悪いイメージになっていることを見抜いて、優しく対応してくださったので助かりました。	
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34	4	0	0	子どもに合わせて支援していただいていると感じています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33	2	0	3	違和感を感じたことはないです。 自分の気持ちを伝えられるようになってきました。	
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	38	0	0	0	違和感を感じたことはないです。子どもの特性を認識し、理解に努め柔軟な対応をしていただいていると感じています。 気になるところを伝えたら、次回以降に組み込んでもらっています。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37	0	0	1	子どもに無理のない支援をしていただいております。ありがとうございます。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	2	0	1	違うと思ったことがないので、計画に沿って支援していただいております。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	36	1	0	1	子どもに合わせて、いろんなものを用意していただき、いろんな経験をさせていただいております。ありがとうございます。 家ではなかなか出来ない体験も多く、興味が広がりました。 子どもの状態に対して適当だと考えられる対応を取っていただいております。 その時々に変えており、子どもの要求によっても変えてくださっています。 同じ内容を次回するにしてもアレンジされていると思います。	お子様によっては、積み重ねが必要な場合は、ねらいをもって固定化することもあります。お子様にとって飽きがなく楽しめるように工夫をしています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域での子どもと活動する機会がありますか。	15	2	7	14	子どもがコミュニケーションが苦手なところがあるので、配慮していただいております。そうゆう機会があるのは知っているのですが、あまり参加することが難しいので、どちらでもないにさせていただきました。	地域のごも同士で交流をする機会を持つことは出来ていませんが、夏祭り等のイベントの際は、ご利用者様のごきょうだいやお友達も参加していただいております。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37	0	0	1	最初に丁寧に説明していただきました。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	38	0	0	0	読み上げながら、丁寧に説明していただきました。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26	1	1	10	個別なので、利用させていただいている時にいろんな情報をいただいております。 小学校のお母さんから話を聞くことが出来た「カフェ」とても役立ちました。	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	37	1	0	1	課題の内容や様子を聞いたり、幼稚園や家庭の様子を話す時間もあり、子どものことを少しでも多く理解してもらえ保護者も安心できます。 話を聞いていただき、子どもの様子も伝えていただいております。終了後のフィードバックやこちらの話を聞いてくださる。その日その日で支援した内容について感想を共有しています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33	2	1	2	困った時に時間をとっていただいたり、相談をさせていただいて、ありがとうございます。時間が出来た際も子どもの様子を聞いてもらえたり、私自身相談出来る場所になっています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37	0	0	1	困りごとを聞いていただき、意見をいただいております。助かっています。ショックなことがあったとき、職員の方から話すとき共感して下さり親として気持ちを切り替えられました。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	23	3	0	12	子どもがコミュニケーションが苦手なので、なかなか参加が難しいのと子どもに兄弟がいないので、わからないにさせていただきました。	不定期ではありますが、「きらりカフェ」を開催しています。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34	1	0	3	相談があるときは、できるだけ早い日にちで時間をとっていただき、助かりました。引越しの相談をさせてもらった時にすぐに調べて情報を教えて下さり助かりました。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36	2	0	0	話をさせていただく時間があって、配慮していただいているので、ありがとうございます。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	33	3	0	2	前もって、書類で教えていただいたり、終わったあとにも教えていただいています。	毎月ブログを更新し、公式LINEで配信をしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	38	0	0	0	困ったことがないので、十分に留意していただいていると思います。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30	1	0	7	最初に丁寧に説明していただいています。最初に説明をしていただき、その流れを聞きました。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	2	1	11	週に1回の利用をさせていただいて、まだ、訓練の日に重なったことがないので、わからないにさせていただけます。参加したことはありませんが、避難訓練の日程表は見ます。	月に1度は防災の話し合いを行い、お子様と一緒に避難訓練も実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	36	2	0	0	個別対応でしっかり見ていただいているので、安全に支援していただいていると感じています。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	1	0	8	事故などの経験がない。個別対応をさせていただいて、まだ、事故や怪我が発生したことがないのですが、その日のことはしっかり教えていただいています。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	38	0	0	0	子どもと親を分離して見ていただいている時間があるのですが、戻る時に楽しそうな声が聞こえてきているので、安心して楽しんでいるように感じています。先生と楽しそうにやり取りができています。行きたくないほど聞かれたことがない。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	35	0	1	2	とても楽しんで通っています。家で今日は〇〇をするなどの話が出たり、行くと言って朝の用意をしてくれるので、楽しみにしていると思います。毎週楽しく通っています。本人の安心出来る場所になり、ありがたく思っています。幼稚園を休んだ日でも「きらり」はいくというほど楽しみにしています。先生と会うことを楽しみにしています。電話が鳴るたびに、園バスから降りる度に「きょう、きらりある？」と聞いてくるくらい楽しみにしています。泣いていますが、子供の特性によるところが大きいと思います。毎回ウキウキして来ています。スケジュールを確認して、朝から楽しみにしています。大好きで楽しみに通っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	36	2	0	0	話を聞いていただく時間を作っていただいたり、子どもの成長を助けていただいて、とても感謝しています。職員の方の入れ替わりがあったとき、お知らせがあったのはよかったです。知らない間に入れ替わりがあると不安です。久しぶりにきても先生方が暖かく迎えてくれてとてもありがたいです。いつもありがとうございます。これからもよろしく願っています。どの先生も子どもの特性を理解して関わって下さり、とても満足しています。いつも丁寧に関わっていただいています。先生方とお勉強するのを楽しみに通っています。温かく見守ってくださりありがとうございます。きめ細かく子どもの様子変化を見てくださっているので、本当にうれしいです。いつも相談のっていただいたり、子どもに寄り添った丁寧な支援をしていただき、ありがとうございます。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「きらり」東加古川駅前事業所	公表日	2025年 2月 7日
------	-------------------------	-----	-------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		お子様の状態に合わせて臨機応変に個室や大部屋を使っています。限られたスペースではありますが、個々の特性に応じて、パーテーションで仕切りながら刺激を調整しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		シフト交代制を取り、利用定員10名に対し日々適切な人員配置のもと、事業所の運営にあたっています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		事業所への来所に関しては建物の構造上、階段を使う必要がありますが、必要に応じて職員が対応させていただきます。支援室内はパーテーションで区切ってそれぞれの児の支援スペースを視覚的に示しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の掃除や定期的な整理整頓・玩具等の消毒をして、清潔な環境づくりに努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		基本的には大部屋でパーテーションを使い、空間を区切っていますが、お子様のコンディションや特性に応じて個室の使用が適当と考えられる場合は個室を使用して支援を行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		業務内容を定期的に職員間で話し合いのようになっています。日々よい改善できるように努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の皆様から頂いたご意見を真摯に受け止め、事業所内での共有を行いながら事業所運営の向上や業務改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の朝終礼での共有、支援を担当する職員間での共有、事業所全体での共有といった機会を通して、職員の意見や考えについて話し合う機会を作りながら、業務改善に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修を受講する機会が多くあり、法人内でも研修を開催する機会が確保されているため、参加することができています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		日頃の支援の内容やその結果なども職員間で共有しており利用者様にとって必要となる力の向上を目的とした計画に沿ったプログラムを作成し、公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		支援の中でアセスメントをとり、児発管と一緒に利用者様の様子を振り返り、他の指導員とともに様子を共有する中で分析したアセスメントを実施し、計画の作成に努めています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		複数の指導員が支援に携わっていることも多いため、モニタリング作成時に内容を共有・相談したり、児発管とお話する際にも内容を共有し、原案作成時に全員で確認することを通して、お子様にとって必要であると考えられる内容を取り入れられるよう検討を進めています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		モニタリング及びサービス担当者会議を行い、お子様の状態と今後の支援方針について職員間で話し合っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		年に1回アセスメントを実施しています。支援後にお子様様の行動、発達、課題について保護者と話し合い、お子様の全体像の把握をし、一人一人に合った支援方法を見立てています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」は5領域の視点で支援項目を設定し、「家族支援」「移行支援」については、お子様とご家族様の状況を多様な観点から確認・分析し関係機関と共有できるよう努めています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		支援の引継ぎを実施し、お子様の状態と支援方法について具体的に話し合っています。また朝終礼にてお子様の状態を職員全体で把握しています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		支援の引継ぎの際、こどもの状態に合わせて支援方法の見直しを行っています。積み重ねが必要な場合、一定期間同じ活動することもありますが、同じねらいで取り組むとしてもお子様にとって楽しいと感じられる活動を用意できるように工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		イベントや同時刻に利用しているお子様同士の交流をお子様の状態に合わせて職員が仲介しながら行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		留意点については、前日から職員間で話し合い、当日は、朝礼を実施し、職員間で共有を図っています。その他臨機応変に職員間でコミュニケーションを図り、担当児以外のお子様にも配慮しチームで協力して支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援後にその日の状態を職員間でフィードバックし、支援方法について改善点は見直しを図り、次の担当者へ引き継いでいます。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録を5領域に沿って記録しています。また、その日の活動プログラム内容とその時のお子様の行動、それに合わせた対応と結果、見解を記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		必ず6ヶ月ごとにモニタリングを実施し、計画書の見直しを図っています。また、保護者のニーズやこどもの状態に合わせて適宜、行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援事業所との会議、及び、関係機関との会議に担当職員・管理者が参加し、施設内のお子様の状況と見解・対応方法などを具体的に伝え、共有を図っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		保育所、幼稚園、小学校との連携を積極的に図り、常にお子様の支援を行う体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所や学校に訪問し支援方法の助言を行い、また、こどもが園や学校の中で生活できるよう事業所内でこどもの特性や状態の把握に努め、保護者の意向を尊重しながら支援方針の選定に努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者への情報提供や年長児の保護者と就学児の保護者との保護者会を行い、先輩保護者からの情報を提供していただきました。また、保護者のニーズに合わせて通園先の園を交えて就学先との連携に努めています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			必要に応じて連携をとります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			園連携で認定こども園、保育園等へ行く機会があるが、他のお子様と活動する機会は作れていないので、機会があれば行います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後のフィードバック等を通して、お子様の状況を保護者と伝え合い、子どもの発達や課題について考えることができています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ご家族様が参加できるイベントを行い、情報提供を行っています。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規程、支援プログラム、利用者負担等については契約時に必ず説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		お子様やご家族様の意向を話し合い確認しながら児童発達支援計画を作成することができています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援時や振り返り時に児童発達支援計画を示しながら保護者様に支援内容の説明を行い、計画の同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援後の振り返りや家族支援を通して、ご家族様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、面談や助言を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		ご家族様のためのイベントや集団イベントを通して、保護者様同士で交流する機会も設けています。	
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れがあったときには、管理者と相談し、日程を決めるなど迅速に対応することができます。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		月2回のブログの掲載やSNSを活用し、活動の様子や行事予定等の情報をお子様や保護者様に対して発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		記録や書類・掲示物など名前や写真が多くの人目に触れないこと・紛失しないことを最重要に考え管理するように努めています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて実物や写真・イラスト・文字などさまざまな情報ツールを活用しながら分かりやすい情報提供・コミュニケーションに努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定し、周知しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、月に1回は避難訓練を行っています。また数か月に一回はお子様にも参加して頂いています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		保護者様から詳しく説明を受け、職員間での対応法について周知を行っています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様から詳しく説明を受け、職員間での対応法について周知を行っています。また、イベント等で食べ物を扱う場合は、必ずアレルギーの有無の確認を行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画は策定済みです。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に説明をさせていただきます。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリとした場面に遭遇すると必ず作成し、大きな事故の発生や再発防止に向けて職員間で共有をしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法定研修への全職員の参加と、虐待防止委員会での事例検討も行い、虐待についての研修の機会の確保を図っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しています。	